

41. 浅間山（神奈川県西部 標高 802m）

箱根の山は天下の剣 と歌われた箱根越えの道として、延暦 21 年（802 年）の富士山噴火によって通行不能になった足柄道の代わりに開かれたのがこの湯坂道です。鎌倉時代に大改修が行われ、当時は人馬の往来も多く主要街道として使われていました。

今では石畳や城址跡に往時の面影を残すだけとなりましたが、金時山、明神ヶ岳、明星ヶ岳等の山々の連なりは当時の人達も見た景色なのでしょう。灯りのない鬱蒼とした山道をどのような思いで越えたのでしょうか。

今では交通も発達し手軽に頂上に立て、春の新緑、初夏の草花、秋の紅葉と四季を通じて楽しむ、そして下山後は箱根湯本での一浴が出来るという点で手軽に楽しめる山となっています。その浅間山・湯坂道をご紹介します。

箱根登山鉄道で小涌谷駅まで行きます。水の補給とトイレを済ませ、駅前の国道 1 号線を横断し保養所が建ち並ぶ坂をカラ類やホオジロ類を見ながら千条ノ滝に向かって歩きます。千条ノ滝が近づいたらミソサザイやカワガラスを探してみましょう。この千条ノ滝は、高さ 3 m 幅 20m ほどの小さな滝で水は温めの温水プールのようなのです。

千条ノ滝から蛇骨川の橋を渡ると二股に分れますが、まっすぐの道が楽に登れ、樹林帯や広葉樹の中をジグザクにのんびり登れば 40 分程で無理なく鷹の巣山下に出ます。植栽されたアジサイに沿って左にだら

だら登ったところが浅間山頂上で、ベンチのある広場はこのコース中一番ゆっくりでき昼食には格好の場所です。キジ、ホオジロ、ミヤマホオジロ、アオジ、カラ類、キクイタダキなどが見られると思います。

広場での休憩後は広い尾根道を下って行きますが滑らないように慎重に下りましょう。この辺りは両側にイノシシの掘り返し跡が見られ、春にはスミレや桜が美しく、秋にはススキの穂波が美しい所です。右に箱根の山々、左に小田原方面が木立の間から眺め、杉・檜の植林された防火帯の広い道をガラガラ下り続けます。

この辺りではクロツグミ、ルリビタキ、カヤクグリ、キクイタダキ、カラ類などが見られると思います。だいが下って、道が大きく右に曲がると広い防火帯の道から樹林帯に入ります。そして雑木林や植林され



エイザンスミレ

コースタイム 4～5 時間

小涌谷駅 - (20 分) - 千条ノ滝 - (40 分) - 浅間山頂上 - (10 分) - 大平台分岐 - (30 分) -

湯坂城址跡 - (60 分) - 湯本駅

地形図：1:25,000 箱根 案内図：箱根（昭文社）

季節

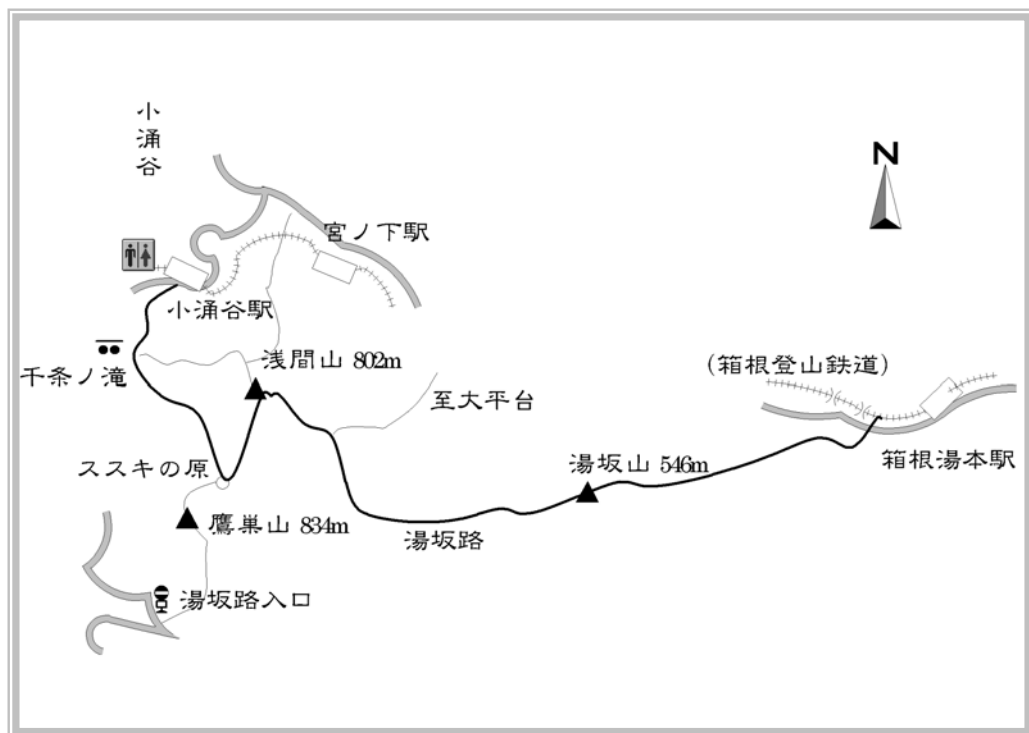
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----

た林が始まるころ石畳が出て来ます。

この石畳は昭和の初め頃、電信幹線ケーブル保護のため敷かれたもので鎌倉時代のものではないようです。雨の日や雪が積もっているときの石畳は滑りやすいので注意が必要です。僅かな坂を登った所、照葉樹林の中に湯坂山城址跡があり国道の車の音もはっきり聞こえ木立の間から旅館の屋根が見えてきます。石畳の段差が大きくな

りますので怪我に注意して慎重に下りましょう。

下りきると手すりのついた階段があり国道に出ます。旭橋を渡り箱根湯本駅に向かいますが、旭橋の下ではカルガモ、コガモ、セキレイ類が見られ、早川のせせらぎと水鳥の姿は疲れた体を癒してくれると思います。右へ 10 分程歩けば箱根湯本駅です。
(石川美恵子)



観察できた鳥

11月～2月

エナガ・ヒヨドリ・コジュケイ・イカル・カワラヒワ・ルリビタキ・メジロ・コゲラ・ヤマガラ・ウグイス・アオジ・ヒガラ・ウソ・キクイタダキ・ジョウビタキ・シジュウカラ・スズメ・ミソサザイ・ツグミ・シロハラ・ホオジロ・ミヤマホオジロ・キジ・カヤクグリ・カケス・ハシブトガラス・ハシボソガラス・セグロセキレイ・ハクセキレイ・キセキレイ・カルガモ・コガモ・トビ・コサギ

5月

ヒヨドリ・スズメ・メジロ・シジュウカラ・ヒガラ・ヤマガラ・コゲラ・アオグラ・コジュケイ・クロツグミ・キビタキ・オオルリ・イカル・ヤブサメ・ウグイス・ハシボソガラス・カケス・キセキレイ・セグロセキレイ・ミソサザイ

あし

- ・行き 箱根登山鉄道小涌谷駅下車
- ・帰り 箱根登山鉄道箱根湯本駅